

互いの学びの質を高め合う協同性を育てるための支援の在り方  
個性を生かした異年齢とのかかわりを中心に

第2学年 生活科学習指導案

幼稚園教育，生活科研究室

1 単元「みんな あつまれ やっほいほい」

2 指導観

【こんな子どもだから】

【2年生】

本学級の子どもたちは，1学期の「たんけん はっけん だいぼうけん」の学習において，校区探検を通して，自分たちの住んでいる地域のよさに気付いてきた。また，自分が見つけた地域のひみつをどんな方法でまとめ，発表するかグループで話し合ってきた。そのことで，まとめ方や発表の仕方を学ぶことができた。

本校には，屋上にソーラーパネルが設置してあることもあり，省エネに対する意識を強くもっており，環境問題への関心も高い。また，学校からは大きな山が望め，校区には大きな公園などもあり身近に自然が多く残っている。そのことから，自然への興味関心も高く，自然物をひろってきて遊ぶなどの姿もよく見られる。

【3年生】

3年生の子どもたちは元気がよく活発な子どもが多い。下学年に対しては，登下校をしたり，休み時間に遊ぶなどして，一緒に活動する機会が多く，やさしく接することができる。

しかし，自分たちが知っていること，学んできたこと，をアドバイスしたり，共に学習をするというような機会はほとんどない。

【こんな教材で】

【2年生】

本単元では，子どもたちの「〇〇の自然を大切にしたい」という願いを実現させるために，自分たちで祭りを計画し，3年生や1年生，保育園の園児，保護者などと交流しながら，遊びを通して様々な体験をすることで，自分たちの地域への愛着を深めることをねらいとしている。祭りは，地域で行われているものを参考にし，リサイクル品や自然物を使い，環境をテーマとした祭りにする。また，祭りに招待した「みんなが楽しめるお祭り」にすることもめあてにし，意識させていく。

【3年生】

総合「わくわく〇〇宣伝隊」の学習で知った校区にある自然や文化について，お祭りに生かせる部分をわかりやすく2年生に教えることで，自分の学びに自信をもつことができる。

【こんな子どもに】

【2年生】

校区の祭りや身近な自然に触れ，自分の地域に愛着をもつことができる子ども。

自然や身の回りのものを利用して，楽しく活動し，表現できる子ども。

交流した3年生と，これからの学校生活でもかかわりを広げていくことができる子ども。

【3年生】

これまでに学習したことを，2年生に分かりやすく教えたり，一緒に楽しく行動したりすることができる子ども

地域の自然や文化のよさを再認識し，校区により愛着をもつことができる子ども。

## 【こんな方法で】

### 互いが認め合い、高め合う活動づくり

#### 意識が連続する課題設定の工夫

- ・振り返りカードを中心に、一人一人の気付きを丁寧に見取り、個別に支援を行うことで、次の活動へのつながりをもつことができるようにする。
- ・子どもたちが祭りにこめる願いやめあてを明確にし、常に意識をさせて活動できるように声をかけていく。

#### 関係を生み出すグループ構成の在り方

- ・子どもたちが祭りの遊びに使ってみたい道具に合わせて少人数のグループを構成し、学び合いが生まれやすいような場の設定をする。

#### 地域の特色を生かした活動

- ・祭りにつかう自然物は校区にある公園や、学校から見える山のものを使い、地域にある自然への関心を高めていく。

### 個性を生かした異年齢とのかかわらせ方

#### 異年齢とのかかわりを位置づけた学習過程の工夫

- ・最初に計画を立てる段階で3年生に来てもらうことで、お互いを早くから意識しあえるようにする。
- ・ミニ祭りでは2年生、3年生のそれぞれの個性を把握しておき、3年生が2年生の足りないところを補うことができるようなグループをつくる。
- ・祭りの本番が終わって、最後にお礼の手紙を3年生にわたすことで、これからも関係が繋がっていくようにする。

### 学びの質をとらえた見取り

#### 子どもの言葉・活動・振り返りカードなどからの見取り

- ・活動中の子どもの様子やつぶやき、振り返りカードの子どもの言葉を整理し、子どもの学びの姿を個別に記録する。

### 3 単元の目標

自然物や身の回りの物を利用して遊べる物を作り、楽しく活動し、喜びや楽しさを表現することができる。

これまでの経験や調べたことをもとに、3年生や友達と一緒にお祭りを工夫しながら楽しみ、お互いのかかわりを広げていくことができる。

お祭りなどを通して、1年生や保育園の園児と交流し、様々な人々とかかわることの楽しさに気付くことができる。

### 4 指導計画

段階	学習活動と内容	教師の支援	期待できる姿・表現
つかむ	<p>「みんな あつまれ やっほいほい」という単元名から、みんなを集めるにはどのようなことを企画したらよいか考える。</p> <p>おいもパーティー お祭り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・“みんな”とは誰であるか話し合う。 1年生、保育園の園児、おうちの人</li> </ul> <p>お祭りについて話し合い、どんなお祭りにするか、祭りに込める願いやめあてについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期の校区探検で調べた校区のじまみや、学校のじまんを出し合う。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みに行った祭りの様子などについて出し合う。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちはどんなお祭りにしたいか、話し合う。</li> <li>・去年のことも参考にできるよう、3年生の話聞く。</li> <li>・話し合ったことをまとめ、祭りのめあてをつくる。</li> </ul> <p>【めあて】</p> <p><b>校区の自然を大切にしよう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・捨てられるものをリサイクルしたい。</li> <li>・自然を好きになってもらいたい。</li> </ul> <p>【めあて】</p> <p><b>みんなが楽しめるお祭りにしよう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなとは誰か。</li> <li>・みんなが楽しめるお祭りとは。</li> <li>・自分は何がやってみたいか。</li> </ul> <p>自分がしたいことをプリントに書く。</p>	<p>たくさんの人を招待し、もっと仲良くなりたいという思いを持たせる。</p> <p>自分たちがしてもらったことを想起させる。</p> <p>学校のソーラーパネルや、学校から見える山に着目させる。 学校探検で行った公園を思い出させる。</p> <p>お祭りのイメージをもたせるために、夏休みの間にいった祭りの話や、教師が準備した祭りの写真を見せる。</p> <p>去年お祭りを経験した3年生にきてもらい、去年の様子や、お祭りをしたときの思いについて話してもらおう。 活動の見通しももてるようにする。</p> <p>「みんな」が楽しめるお祭りするには、どんなことを大切にしたらいいか考えさせる。</p> <p>どんなことをしたいのか、どうしてしたいのかを書かせ、意欲をもたせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなが来なくなる行事ってなんだろう。</li> <li>・1年生の時にお祭りに招待されたよ。自分たちもしてあげたいな。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーラーパネルで電気をつくっている。</li> <li>・学校からは大きな山がきれいに見える。</li> <li>・公園にはたくさん自然があった</li> <li>・ぼくはお祭りにいってこんなものを見た。</li> <li>・お祭りにはこんな遊びがあった。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・去年、こんなことが楽しかったな。</li> <li>・どうして楽しめたんだろう。</li> <li>・3年生はぼくたちのためにがんばってくれた。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうしたら、1年生や保育園の子も楽しいお祭りになるかな。</li> <li>・いろんなお店がある</li> <li>・楽しいゲームがある。</li> <li>・かわいいおみやげ。</li> <li>・元気なお店の人の声。</li> <li>・早くお祭りをしてお客さんをよびたいな。</li> <li>・楽しいお祭りにしたい。</li> </ul>

<p>さ ぐ る</p>	<p>お祭りの計画を立て、準備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループに分かれ、計画を立てる。 グループ作り（4，5人グループ） グループごとの計画</li> <li>グループ       <ul style="list-style-type: none"> <li>（1）自然仲良しグループ ...地域の自然をつかった遊びやお土産を作る。</li> <li>（2）リサイクル紹介グループ ...牛乳パックやペットボトルを使った遊びやお土産を作る。</li> </ul> </li> <li>必要な物を準備し、作る。 自然仲良しグループは、公園へ材料をとりに行く。  リサイクル紹介グループはリサイクル品を家や学校で集める。</li> <li>自分たちの作った物を試してみる。</li> </ul> <p>3年生にミニ祭りの招待状を届ける。</p> <p>ミニ祭りをして、課題を見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ミニ祭りを開き、3年生に来てもらう。</li> <li>さらに工夫するところなどアドバイスをもらう。（本時） <b>4つの視点</b> 品物について（配置，数，内容） ルールについて（難しすぎないか） お店の工夫について（看板，文字） 接客について（声の大きさ，説明）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>祭りのあと，3年生によいところ，工夫すべきところを紙に書いてもらう。</li> </ul> <p>ミニ祭りのことを思い出し，課題を見つける。 カードの内容 ビデオを見て</p>	<p>内容や必要な物を書かせることで，取り組む内容を明確にする。 してみたい内容をもとに，個性を生かせる集団になるよう，教師がグループを決める。 何をつくるのかをはっきりさせ，役割分担させながら作業させる。 全員に仕事が行き渡るよう指導する。 「校区の自然を大切にしよう」「みんなが楽しめるお祭りにしよう」というめあてを常に意識させる。 家庭にも連絡し，材料集めに協力してもらう。 実際にならべたり，レイアウトさせたりすることで，自分たちの思い通りになっているのかを確認させる。 3年生と2年生のアドバイスをしあうグループは個性を生かしあえるよう工夫をする。 よいところ，工夫したほうがよいことなど気付いたことをその場で話してもらう。 アドバイスしやすいよう4つ視点を提示する。 2年生がアドバイスされたことを忘れないよう，3年生には紙にも書いてもらう。 よいところはピンクの紙，工夫したほうがよいところは黄色の紙に書いてもらう。 3年生からももらったカードとミニ祭りのビデオを見ながら，お店をよりよくするために工夫するところを考えさせる。 「みんな」が楽しめるというめあてを思い</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>何の材料があるかな。</li> <li>どこで手に入るかな。</li> <li>この材料が使えるかな。とっておこう。</li> <li>作る順番はどうしようか。</li> <li>ルールはどうしよう。</li> <li>目立つように大きくつくろう。</li> <li>ていねいに作らないといけないね。</li> <li>ちゃんと仕事をわけよう。</li> <li>捨てられるものも，こんな工夫ができるよ。</li> <li>自然のものでも遊べるね。草や花はおもしろい。</li> <li>この商品は目立つように前の方におこう。</li> <li>なんだか見にくいなあ。かえてみよう。</li> <li>うまくいかないのはなぜだろう。</li> <li>3年生に楽しんでほしいな。</li> <li>きんちょうするけどがんばろう。</li> <li>大きな声でお客さんをよぼう。</li> <li>がんばってつくってよかった。</li> <li>アドバイスをもらえてうれしいな。</li> <li>大きな声が出せなかったのがいけなかったな。</li> <li>ルールがむずかしすぎたみたいだ。もっとわかりやすくしよう。</li> <li>小さい子でもできるように工夫しよう。</li> <li>早く本番にならないかな。楽しみだな。</li> </ul>
----------------------	--	--	--

<p>ひ ろ げ る</p>	<p>作り直しをする。</p> <p>招待状を作り，届ける。 ・招待状をつくる。 1年生へ 保育園のお友だちへ</p> <p>・招待状を届ける。 1年生 保育園</p> <p>お祭りをして楽しむ。 ・準備（体育館で準備をする。）</p> <p>・お祭り本番（1年生，園児，保護者を招待する。）</p> <p>・後片付け</p> <p>お祭りについて振り返る。 ・活動を振り返り，作文を書く。</p> <p>・3年生にお手伝いのお礼の手紙を書き，届ける。</p>	<p>出させる。 前時に気づいた課題から，どこを改善するか書かせておく。</p> <p>招待状を作らせることで，お祭りへの意欲を高める。 招待状にはどんな工夫が必要か話し合わせる。</p> <p>招待する保育園の子ども様子について，あらかじめ知らせておく。</p> <p>自分たちが考えたお店でみんなが楽しんでいるかを考えさせながら，お祭りをすすめる。</p> <p>これまでのプリントや，活動の写真，ビデオを使って振り返る。</p>	<p>・つぎは気を付けてつくろう。 ・カードを見てたしかめよう。 ・1年生や保育園の子によるこんでほしいな。 ・たくさんの人に来て欲しい。 ・かわいく工夫しよう。 ・ひらがなと絵でかこう。 ・会うのが楽しみ。 ・来てくれるように話をしよう。</p> <p>・お祭りがんばるぞ。 ・みんな喜んでくれているかな。 ・つくりかえてうまかった。 ・大きな声でがんばるぞ。 ・楽しんでくれてうれしいな。</p> <p>・お祭りは楽しかった。 ・またしたいな。 ・今度はこんなことをしてあげたい。 ・3年生に手伝ってもらってよかった。 ・校区の自然がもっと好きになった。 ・リサイクルできるものをたくさん知った。</p>
----------------------------	--	---	--

## 5 本時

平成20年 10月 15日(水) 5校時 体育館

## 6 本時の目標

【2年生】 3年生とかかわりながら、祭りの準備で不十分なところ、もっと工夫できるところに気付くことができる。

【3年生】 2年生に、祭りのよいところ、工夫すべきところを教えることで、自分の成長に気付くことができる。

## 7 本時指導の考え方

子どもたちはこれまで、身近なものや自然物を使ってお祭りの準備を進めてきた。しかし、準備したゲーム等が保育園児には難しすぎたり、工夫が足りなかったりということが予想される。そこで、昨年お祭りを経験している3年生と出合わせ、アドバイスしてもらうことで自分たちに足りていないもの、もっと工夫できることに気付かせたい。

本時は、お祭りの本番前のミニ祭りを開き、3年生に来てもらい、よいところや工夫すべきところなど気付いたことをアドバイスしてもらう時間である。アドバイスについては3年生に事前に4つの視点を伝えておき、祭りに参加してどこをみたらいいのか、2年生に何を話したらいいのか、めあてをつかませるようにしておく。2年生は3年生に学ぶことで、自分たちでは気付けなかった「みんなが楽しめる祭り」にするための条件について気付くことができ、本番までどのように工夫を加えていけばいいか見通しをもてる。3年生は2年生に教えることで、自分の学びに自信をもち、自らの成長に気付くことができる。2年生・3年生の活動を賞賛したり、方向付けをしたり、声かけをしたりして、気付きが深まり、広がるようにしていきたい。

8 準備

【子ども】2年生・・・お祭りで使う道具，3年生・・・筆記用具

【教師】アドバイスを書き込む紙（ピンクと黄色）

9 本時の展開

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>3年生にお店についてアドバイスをもらい， 「みんなが楽しめるお祭り」にしよう！</p> </div> <p>2 お店の用意をする。 自分のお店の場所へいく。</p> <p>3 3年生にアドバイスをもらいながら活動をする。 【活動】3年生にはいろいろなお店を自由に回ってもらい。アドバイスがあれば，その場でしてもらう。</p> <p>【活動】事前に決めていたグループでアドバイスをもらう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>4つの視点</b> 品物について（配置，数，内容） ルールについて（難しすぎないか） お店の工夫について（看板，文字） 接客について（声の大きさ，説明）</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>わなげを作ったけど なかなか入らない。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>小さい子には難しい から輪を大きくして みたらどうか。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>おみやげの数はこれ くらいで足りるかな</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>足りないかもね。 神社にどんぐりがあるよ。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>いらっしゃい， いらっしゃーい。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>お店の内容も言ってみたら？</p> </div> </div> <p>4 今日の学習を振り返る。 今日の感想を出し合う。 ・2，3年生のグループで集まり，話をさせる。 2年生が3年生にお礼を言って学習を終わる。</p> <p>5 学習後，3年生には，アドバイスしたことをカードにも書いてもらう。 ・よかったこと・・・ピンク ・工夫すべきところ・・・黄色</p>	<p>事前にアドバイスをしてもらいグループを決めておく。 3年生に，小さなことでもその場で積極的にアドバイスするよう伝えておく。 2年生に，分からないこと，不安なことなど聞きたいことは積極的にたずねるよう伝えておく。</p> <p>2年生が準備をしている間，3年生にアドバイスの視点を確認しておく。</p> <p>それぞれのお店が，困っていること，3年生に聞きたいことをお店の前に書いておき，3年生がアドバイスしやすいようにしておく。</p> <p>子どもの行動，発言を観察し，個に応じた言葉かけをする。 子どもたちの気付きが深まっていくよう声かけをする。</p> <p>お店のもので作り直した方がよいものなどあれば，3年生にも手伝ってもらい，その場で作り直す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>* めあてをもって活動し，気付きを深め広げることができる。 【行動・発言・記録分析】</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>* 3年生と進んでかわり工夫すべきところに気付くことができる。 【行動・発言・記録分析】</p> </div> <p>4つの視点を中心に，今日の活動がどうであったか話をさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>* 3年生にアドバイスしてもらったことを生かし，これからどう工夫していけばみんなが楽しめるお祭りになるか，本番までの見通しをもつことができる。 【行動・発言・記録分析】</p> </div>